

コア会議の実施報告（令和4年8月実施）

【当日の流れ】

1. ピアサポートについての整理と他区の活動例を知る

江戸川区相談支援センターくらふと 吉澤氏より報告

2. どのようなピアサポートの取り組みを行っているのかを共有

3. どのようなピアサポート活動を進めていくと良いか、意見交換

ピアとは？ピアサポーターとは？

ピアとは？

- ・ 同じような立場や境遇、経験等を共にする人たちを表す言葉
- ・ 障害や疾患に限らず、人と人がさまざまな共通項として生まれる関係性
例：同じ学校の学生同士
 同じ職場で働く人同士
 同じ出身地の人同士
 子育て中の親同士 など

ピアとは？ピアサポーターとは？

ピアサポート

- ・ピアによる支え合い
- ・お互いの経験を伝えあう、わかちあうこと
- ・障害の領域では
→障害のある人生に直面し、同じ立場や課題を経験してきたことを活かして仲間として支えること

(岩崎 2017)

ただし、そのあり方は**“多様”**

ピアサポート活動の多様なあり方

①仲間としての活動

作業所やデイケアなどの日常的な活動を一緒にすることでのピアサポート

②社会に働きかける活動

体験談（リカバリーストーリー）を发表するような啓発や当事者活動などの形で社会に働きかけるピアサポート

③役割をもった活動

サービスを提供する立場、支援者として活動するピアサポート

①②③のどれかができればよいと言われている

例：1対1ではいい味が出せるが大勢の前だと持ち味を発揮できない→③の活動

ピアサポート活動の多様なあり方

③役割をもった活動

サービスを提供する立場、支援者として活動するピアサポート

同一業務従事型／他の職員と同一の業務に従事。

メリット：既存の人員配置にピアサポーターを位置づけやすいため、労働時間や給与といった労働条件が他の職員と同じになる。

デメリット：利用者や雇用側してみればピアサポーターならではの専門性が、分かりづらくなる。

役割分担型

例：地域移行の支援において病院での交流会や面会、見学同行等限られた業務をピアサポーターが担い、専門職が関係機関との連絡調整等を担う。地域活動支援センターの居場所にピアサポーターが配置され来所する利用者の対応にあたる。

メリット：ピアサポーターの役割が明確で専門性との関係がわかりやすい。

デメリット：既存の人員配置に位置づけにくい。専門職と比べて労働時間が短くなりやすく、給与が低く抑えられがちという声もある。

ピアサポート活動の多様なあり方

②社会に働きかける活動

体験談（リカバリーストーリー）を发表するような啓発や当事者活動などの形で社会に働きかけるピアサポート

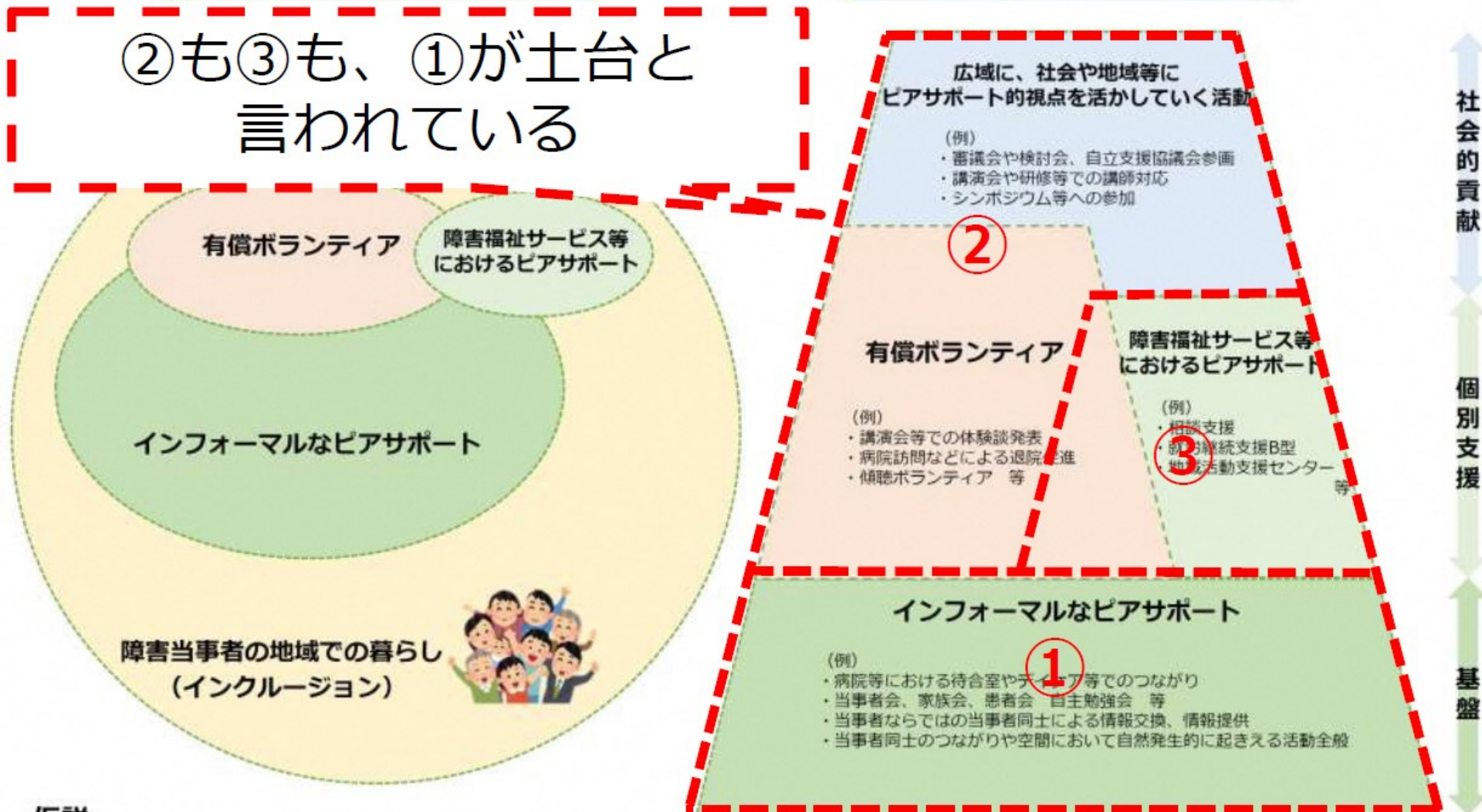
リカバリー志向への貢献／ピアへの支援だけでなく社会や組織がリカバリー志向に変化することに貢献する可能性がある

- ・病気があっても困難をのりこえて人生をやりくりし、リカバリーの旅を歩んでいる。困難であっても希望を持つことができることを、失敗が成長の一部であることを体験的に知っている。
- ・困難を乗り越えてきたピアサポーターが目の前にいることで、専門職はリカバリーを目の前に見ることができ、リカバリーをサポートする支援を実践しやすくなる可能性がある等。

位置づけを俯瞰的に見た場合

位置づけを構造的に見た場合

②も③も、①が土台と
言われている



仮説

ピアサポートとは、当事者同士が機会や場を共有した際に自然発生的に起きえるもので、その活動はインフォーマルなピアサポートを基盤とする。多くのピアサポート活動は、インフォーマルなピアサポート活動を発展させた形で提供される。

ピアサポート活動の多様なあり方

①仲間としての活動

作業所やデイケアなどの日常的な活動を一緒にすることでのピアサポート

②社会に働きかける活動

体験談（リカバリーストーリー）を发表するような啓発や当事者活動などの形で社会に働きかけるピアサポート

③役割をもった活動

サービスを提供する立場、支援者として活動するピアサポート

①②③の順に働く密度が増えると言われている

活躍する機会が増えるが、責任も増える

江戸川区や当法人におけるピアサポートへの取り組み

* 当法人において平成27年度より地域でのピア活動の新しいシステムとして、「**たすき掛けプロジェクト**」をスタート。具体的には近隣の3法人が集まり、3つのプログラムを実施。

- ①**参加**：月に1度の定例会を各法人持ち回りで実施。誰も参加可。
- ②**実習**：定例会に何度か参加され、ピアサポーターに興味を持った利用者は自分の所属している法人以外で実習を体験。
- ③**雇用**：無償、有償ボランティアという形を経て雇用へ。

* 江戸川区において令和2年度**江戸川区精神障害者ピアサポーター育成事業**が創設され、当法人が受託。
支援内容：ピアサポーターの育成、管理。また活躍の場の開拓等
→令和2年度は6名が修了し、2名が正規雇用。
令和3年度は現在13名の受講中。

* 江戸川区における精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおいて令和3年度よりワーキンググループ「**ピアサポート**」が創設。

[古橋陽介,相談支援センターくらふと]

	ピアサポート (活動計画案)
ワーキング グループ 大目標	ピアサポーターの育成と 仲間同士のつながり・支え合い作り
令和3年度 (第1期) 活動目標 (案)	ピアサポートを知り、 ピアサポーターの活躍の場を作る
具体的な 活動内容(案)	<p>①<u>研修開催</u> ⇒ピアサポートを知ってもらうための研修をピアサポーターに実施してもらう</p> <p>②<u>ピアサポーターのマッチング</u> ⇒どんな支援に入ってもらえるかの確認、協力依頼したいときの相談窓口の整理など周知のためのパンフレット作成も検討</p> <p>③<u>次年度以降の活動計画</u></p>

コア会議の実施報告（令和4年8月実施）

【文京区のピアサポートの取り組み状況】

①仲間としての活動

- 事業所のグループ活動や地活のオープンスペースで利用者同士が交流している
- 仕事をしている人、したい人が集まった話をする機会を持つ
- 自助グループとして断酒会など、悩みを共有できる機会が確保されている

コア会議の実施報告（令和4年8月実施）

【文京区のピアサポートの取り組み状況】

②社会に働きかける活動

- 家族会にて当事者に自分の生活等を話してもらう
- 事業所で就職などの体験談の話をしてもらう

コア会議の実施報告（令和4年8月実施）

【文京区のピアサポートの取り組み状況】

③役割をもった活動

- 当事者を職員として雇用。当事者同士で悩みを話している
- 世の中お助け隊（神社の清掃、メンバーの自宅の草むしりなど）

コア会議の実施報告（令和4年8月実施）

【ピアサポート活動への働きかけ】

- 同じような悩みをもつ人が地域で話せる居場所づくりに取り組んでいる（障害をもちながら就労している人、若年性認知症の人など）
 - 区内に7カ所、多世代が集まる場を整備中（高齢者・子育て世帯など）
- 発症や回復過程についての経験を語ってもらう機会をもつ
- 福祉祭りで参加者にそれぞれの障害当事者の話を聞いてもらうイベントを開催
- 出張型で事業所等に出向きピアグループを開催することで参加者が増えた
- ピアサポーター活用アドバイザー事業
（東京都地域移行体制整備支援事業）

コア会議の実施報告（令和4年8月実施）

【コア会議で出た意見】

- 社会貢献したいという気持ちは皆持っているが、社会貢献できる場を知らなかったり、ピアサポーターという発想や概念を持ち合わせていないことも多い。
- 当事者が語る機会を持ち、周囲の役に立つ経験をするメンバーもいる。（家族会では当事者の話は成功例が聞けて人気がある）
- ピア活動についての勉強会があっても良い
- 様々なピアの形があるため、いろいろな形を学習して知っていただくことは効果的。
- 既に当事者がやっている活動がピア活動に該当するという気づきを促すきっかけを作る

コア会議の実施報告（令和4年8月実施）

【コア会議で出た意見】

- 支援者がピアサポートについて学ぶところからスタートしたい。
- 薬局など、ちょっとした日常動作の困りごとに対し、当事者の「分からない」気持ちに寄り添えるピアサポーターがいるだけでも良いのではないか。
心の健康ガイドを配ったときも反響があった。何か手助けが欲しいと思っている人も多いため、薬局をうまく使えると良い。